

## 当社グループにおける 吹付けアスベスト使用状況および対策方針について

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、今般、当社グループにおける吹付けアスベストに関する詳細調査を実施するとともに、吹付けアスベストに対する対策方針を下記のとおり策定しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 調査概要について

当社は、前回(9月2日公表)のグループ18社(新日本石油、新日本石油精製、新日本石油化学、新日本石油開発、新日本石油基地、新日本石油タンカー、新日石不動産、新日石トレーディング、新日石加工、新日石ビジネスサービス、新日石総研、志布志石油備蓄、上五島石油備蓄、日本海石油、沖縄石油基地、NIPPOコーポレーション、新日石インフォテクノ、和歌山石油精製)を対象にしたアスベスト含有製品使用状況調査の後、吹付けアスベストに的を絞り、その使用箇所について詳細な調査を実施いたしました。

#### 2. 調査結果について

##### (1) 健康被害状況

当社グループ従業員および元従業員に関しては、アスベストに起因する労災認定事例はありませんが、これまでに2名の従業員が中皮腫で亡くなれていることが判明(9月2日公表)し、9月以降、従業員、元従業員およびその家族で健康診断を希望される方に対し、健康診断を実施してまいりました。現在(11/30)、受診希望者数は406名で、既に受診完了者数は263名となっております。2次検診を実施中の方もおりますが、現在までに、健康診断の結果、当社で把握できる限りにおいては中皮腫あるいはアスベストを主原因とする肺がんとの所見の方は確認されておりません。また、当社グループ事業所周辺の皆様からの健康被害の申し出はありません。

##### (2) 吹付けアスベストの使用状況

目視確認および分析を通じて詳細な調査を進めてまいりました結果、建築物において、約150箇所の吹付けアスベスト使用箇所を確認いたしました。

#### 3. 今後の対策について

当社は、今回の詳細調査で確認された吹付けアスベストが使用されている約150箇所については、石綿障害予防規則第10条に基づく措置のほか、健康被害を未然に防ぐ事を第一に考え、劣化・損傷がない箇所についても、常時立入がある密閉空間に使用されている箇所は、自主的且つ可及的すみやかに撤去し、その他の問題がない箇所についても早期に撤去していく対策を講じてまいります。

(1) 対策期間: 2005年12月～2007年3月末(予定)

(2) 対策費用: 約28億円(2005～2006年度)

(3) 主な対策実施箇所: 製油所、油槽所、LPガスターミナル等の当社グループ所有の物件

なお、製造設備にある配管・装置・タンクの石綿含有保温材については、通常時は飛散することがないため、解体撤去の機会に撤去し石綿非含有製品に交換していきますが、損傷劣化の見られる場合には、可及的速やかに撤去・交換してまいります。また、パッキン、ガスケットについては、「石綿製品の全面禁止に向けた石綿代替化等検討会」(主催事務局:厚生労働省)の経過を踏まえて対応を進めてまいります。

#### 4. お問い合わせ窓口

##### お問い合わせ

一般のお客様からのご質問	お客様相談室 アスベスト専用フリーダイヤル	0120-880-385 受付時間日・祝日を除く 9時00分～17時30分
ニュースリリースの内容	広報部 広報グループ	03-3502-1124

